

コシヒカリ生育速報 第3号

令和7年7月1日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309

葉色のさめ早い。田面の乾かし過ぎに注意！
穂肥施用に向け、中干しは出穂期の1か月前までに終了！

【6月30日生育状況】（管内10か所平均、平均田植日5/23）

草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(葉)		葉色(SPAD)	
本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
49	109%	435	91%	9.7	±0.0	38.5	-0.5

○ 指標値比較【草丈：やや長い 茎数：やや少ない 葉数：並み 葉色：並み】

葉色は「並み」であるが、前回6/19の「やや濃い」から低下し、葉色のさめが早い。

○ 1か月予報（6/26新潟地方気象台発表）では、向こう1か月間の気温は、高い確率が80%で、平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想となっている。

【今後の管理のポイント】

1 中干しは出穂期の1か月前までに終了し、田面を乾かし過ぎないように注意

(1) 中干しは小ヒビが入る程度をめやすとし、出穂期の1か月前までに終了する。

(2) 田面を乾かし過ぎると、根を傷め品質低下を招きやすいので注意する。

2 カメムシ斑点米対策の徹底

(1) 6月26日の魚沼市病害虫予察では、斑点米カメムシ類の発生が平年より多く見られた。

畦畔・農道の除草は雑草が結実しない間隔で行う。併せて、本田除草を徹底する

(2) 刈った草は用水や河川に流さないように注意する。

3 出穂期予想と穂肥時期のめやす（7月1日現在）

(1) 5/20植えのコシヒカリの出穂期は、近年（過去10年）より1日程度早まる見込み。

田植え時期や生育状況、今後の気象により出穂期は異なるので、必ず幼穂長を確認し、穂肥前日数を判断する。田植えが5日遅くなると、出穂期は2日程度遅くなる。

(2) 早生はまもなく幼穂形成期を迎える。収量確保のため1回目穂肥を遅れずに施用する。

品種名	田植日	幼穂形成期	出穂期予想	穂肥時期のめやす（カッコ内は出穂前日数）	
				1回目	2回目
こしいぶき	5/10~15	7/2頃	7/24頃	7/1 (23日前)	7/10(14日前)
コシヒカリ	5/20	7/10頃	8/3頃	7/16~19(18~15日前)	7/24(10日前)

※ 幼穂長と出穂前日数のめやす：0.1cm→24日前、0.2~0.4cm→20日前、0.5~1.0cm→18日前、4~6cm→12日前、8~11cm→10日前

4 ケイ酸質資材の施用

ケイ酸不足のほ場では、ケイ酸質資材を出穂期40日前頃から1回目穂肥時期の間に施用し、高温による品質低下を防ぐ。

農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな水分・塩分の補給や休憩が大切です。

次回発行
7月11日